

関係性の循環をうみだす

つくラッセルというありかた

プロフィール

氏名	戸田 友介（トダ ユウスケ）
出身地	愛知県北名古屋市
居住地	愛知県豊田市旭地区（旧東加茂郡旭町） 2010年10月に移住
年齢	42歳
家族	妻、長男12歳、長女10歳、次男8歳、次女4歳

想いを綴るnote公開中 https://note.com/yusuke_toda

地域で暮らす、はたらく、暮らしごと

株式会社M-easy 代表取締役（人材創造拠点つくラッセル運営）
株式会社あんじゃない 代表取締役（地域密着型デイサービスあんじゃない運営）
小渡・小原販売店 戸田新聞店 代表
一般社団法人おいでん・さんそん 代表理事（おいでん・さんそんセンター運営）
一般社団法人里モビニティ 代表理事
株式会社きく結び 取締役顧問（訪問看護ステーションかえるの家運営）
NPO法人みち 理事（障がい者就労継続支援B型事業所よりみち運営）

築羽自治区広報部長、旭木の駅プロジェクト実行委員会事務局、耕Lifeアドバイザー、豊田市生涯学習審議委員、豊田市市民活動促進委員、旭・小原商工会員、豊田市消防団第九方面隊第四分団所属、つくば太鼓くらぶ、山里ひとなる塾塾長、山里合唱団「こだま」団長、あさひ民謡パラダイス、旭しょうゆづくり会など



Introduction



つくラッセルは、過疎対策プロジェクトを出発点として、地域住民、移住者、地域内外の企業、活動団体などがつどう場としてはじまった。はたらく場を実装することで、日常的に「人がいる、一緒にいる」ことを作りだすとともに、持続的な維持管理を行っている。

現在は、いつも誰かがいる場の機能を新聞販売店の事業を中心に整え、地域資源や遊休資産をいかす起業や新しい事業、都市部の企業と連携したサテライト業務、高齢者介護や障がい者支援、マレットゴルフや合唱団などの健康や文化活動など、営利・非営利をかかわらず多様な主体や事業が重なりながら、雇用場の場、関係性を育む場となっている。



旭木の駅プロジェクトで集まった材を活用し、新割りと薪ストーブ販売店DLDさんへの新配達サービスを行っています。また「焚付の薪」や「暖房の薪」として小売販売をしています。



間伐材木工研究会 図工室
自らも間伐材ランディアとして活動。間伐した材を伐り置きするのではなく、先人が植えた木を大切に使い、木の持ち味を生かした製品作りを目指し活動しています。



木かんしゃ
(同) 木かんしゃ
「薪ストーブ、うちにもつけられるかも」今まで設置できなかったご家庭でも、導入しやすいモノを提供しています！地域の森林資源の有効活用を目指しています。



(同) コレカラフーズ
つくラッセル3階



知り合いなど繋がりのある方がつくられている素材を活かし、そのまの味を伝えるアイスをつくっています。



(一社) 里モビニティ

いつまでも安全に自分で移動できる地域づくりを目的に里モビニティの開発リース、コミュニティ活動をしています。



竹々木々工房

里山にある資源を活用し、永続的な里山整備に繋がる活動をしています。現在は竹害に目を向け、四座メソづくりに取り組んでいます。

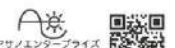


KIDÉE 図工室

つくラッセル木工。大工部門担当。木とアイデアを活かし、地域と社会の可能性を模索する。Think globally, Act locally をモットーに今日も地道に動いています。



スキママッチング
地域を支える会社・事業者とはたきたい人をつなげます。



(同) アサノエンタープライズ
イベント音響の事業を中心に、事業展開しています。挑戦と失敗を繰り返しながら、少しずつ成長しつつあります。これからもずっと、旭の一企業として、地域の中で事業をつづけていきたいです！

地域密着型サービスあんじやない

地域のなかでみんなが健康よく年を重ねていける時間を丁寧につむいでいきます。



コワーキングスペース利用者 (株) コングレ 柳澤二郎
つくラッセル2階



政府代表の国際会議、イベント運営など名古屋にある会社勤務、テレワークの場として活用しています。



(株) M-easy・戸田新聞店
つくラッセル1階

新聞店運営、カフェ、経理、総務、つくラッセル内外で多岐にわたる業務を担当しています。



就労継続支援B型事業所 よりみち
運動場

焚き付け用の薪をつくってもらっています。商品は小沢のコンビニなどで販売しています。



豆まきから味噌づくりまで 1年を通して活動します。



Man to Man (株) サテライトオフィス
つくラッセル2階

子どもが学校に行っている時間帯に近所で働いたら...そんな「隙間時間仕事」を増やすきっかけになればと名古屋に本社がある人材派遣会社がサテライトオフィスを開設。テレワークで仕事を行っています。

一般社団法人おいでん・さんそん つくラッセル1階

ひととひと、まちといなか、地域と企業をつなぐ都市と山村の交流コーディネート事業を行う中間支援組織です。



ミライの職業訓練校
モヤモヤを大切にお互いに関わり合うことからはじまる小さな共有の場をつむいでいます。

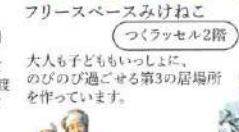


山里ひとなる塾
愛知県豊田市の山村集落をフィールドに、地域へどっぷりと没入する生の経験、これからの人生への向き合い方を学びます。



フリースペースみけねこ
つくラッセル2階

大人も子どももいっしょに、のびのび過ごせる第3の居場所を作っています。



Toolメンテ
工具器具メンテナンスを行っています。隙間時間を組み合わせながら、各々のペースで仕事をしています。



KOZOカンパニー

豊かな山林を守り循環させるため、地域の間伐材を有効活用させていくと願っています。木製雑貨、看板などを制作しています。国産の木の温もりを暮らしの中に。



Duo le lien (デュオール リン)

音楽の本格派ユニット。子供向けからクラシックまで幅広く演奏しています。仕事の合間に練習しています。



山里合唱団こだまデュオール リンのお二人指導のもと、楽しく合唱しています。



マレットゴルフ愛好会 運動場

「小学校が廃校になり、このまま誰も来れない場所にはいけない。」その思いからつくラッセルができる5年前にマレットゴルフ愛好会を設立しました。定期的に大会が行われています。



芳泉先生と築羽自治区のお祭りでの出会いをきっかけに、定期的につくラッセルで三味線と民謡を教わっています。

PDS バシフィックドローンスクール

100回開いても優しく教えるドローンスクール。ワンコイン500円で体験教室も行っていきます。わざわざ遠方から習いに来る方も！



(株) peakoo

自分の貿易やデジタルに関するノウハウを使いこなして旭地区に関係人口を増やして行きます。



原点



「あんたらいてくれるだけで嬉しい」と受け入れてくれた地域の皆さん
できるできないだけで評価しない、いることの価値と可能性

旭には大切にしたい当たり前の文化が根づいていたという気づき
お互いをよく知り、かかわり、一緒に体をうごかす、おせっかいをし、大
丈夫かと励ましあい、贈り合う

地域で暮らすを経験する



とにかく何でも引き受ける覚悟と行動。得たものと失ったものと学んだもの。

自分としても、家族としても、移住の先輩としても、仕事としても、ちょうどいいあんばいを模索し続ける。

経験から獲得する

ひとりではできないということ

弱さをだせる強さをもつこと



弱い私たちができることは、つながりあい、かかわり
あい、支え合うこと。

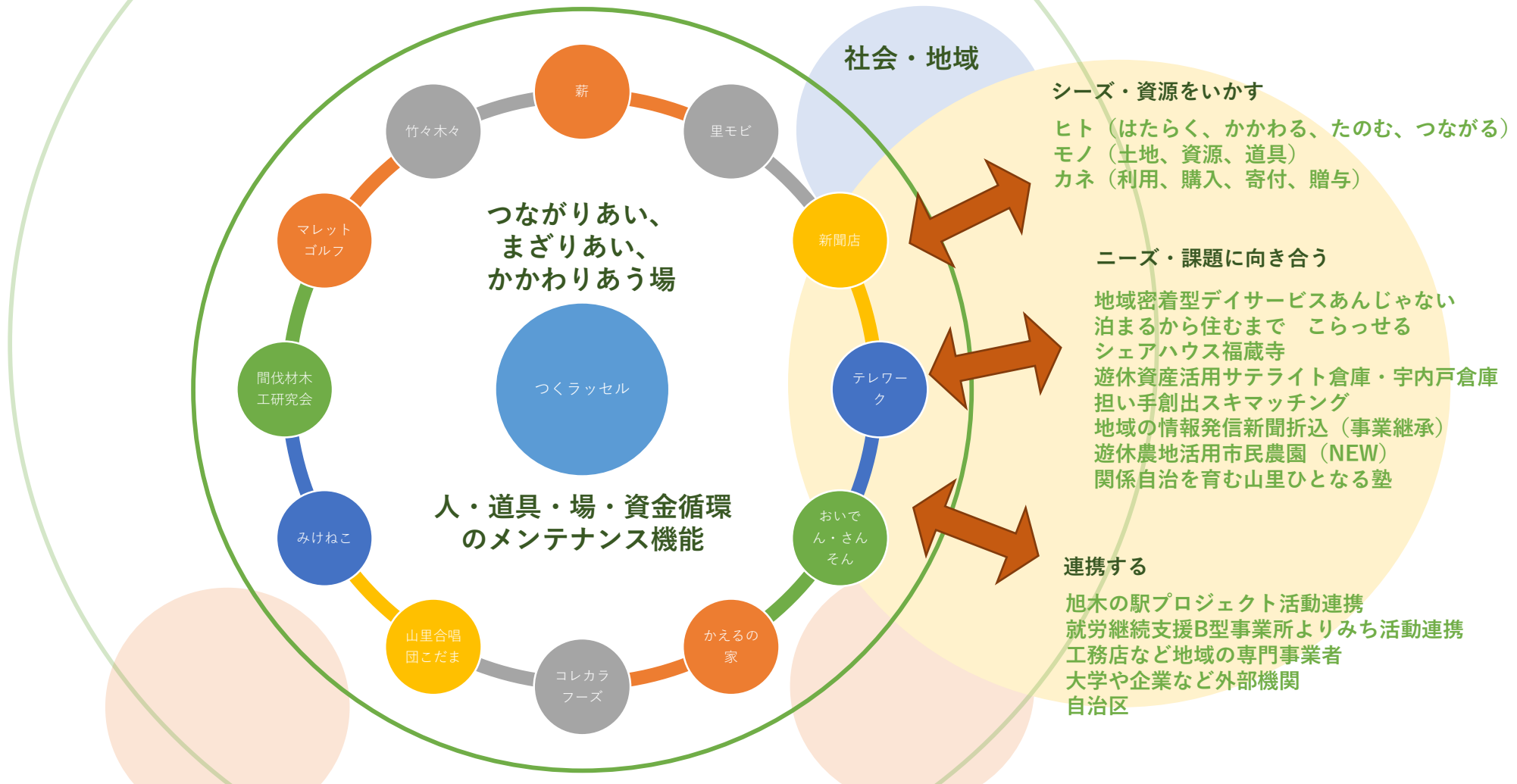
家族も、仲間も、地域も、スタッフも、自分事になる
ことの力を信じる。

つくラッセルの運営

株式会社M-easyを中心につくラッセルを通して地域に投資する循環する仕組みを採用し、小さな事業でもはじめられる続けられるように、人材、道具、場所、資金をお互いに融通しあう関係性を育むことを大切にしている。

<コンセプト>

社会関係資本（つながり・人）と、地域資源（自然・土地・施設）の価値循環を創造することで、未来につながる暮らしをつくる関係性創造拠点



今日のポイント整理

Q1 活動動機、モチベーション

ここにみんなで機嫌よく暮らし続けていきたいということ

Q2 行政とどんな関係を作ってきたか

各事業や団体で個別にかかわりがあるだけでなく、個人としても役割を担いながらかかわりがある。協力と協働の関係。つくラッセルはコンソーシアムの一員として参画。地域住民活用部分で施設使用料の減免あり。

Q3 困った事を相談できる関係構築（マインドセット）制度や行動の変化

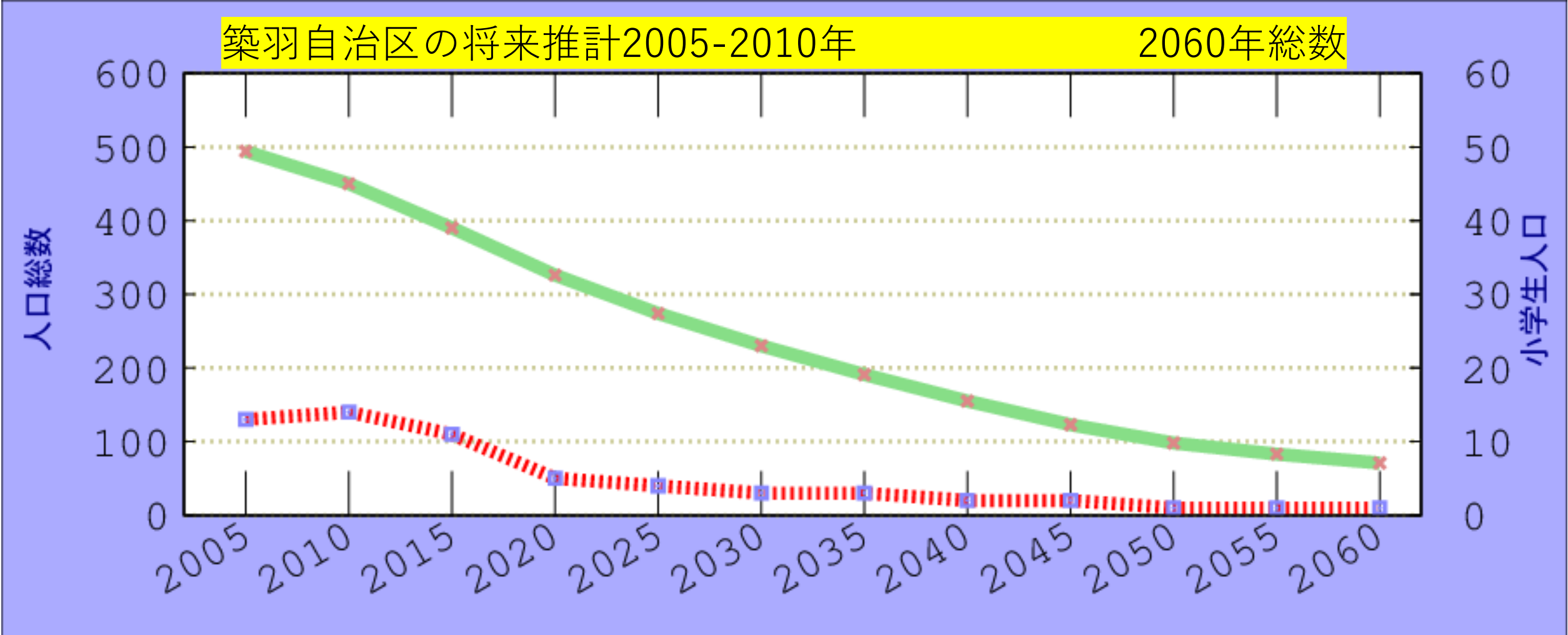
いること、いつきてもいいということ、色々な組織や機会を重ねることで、勝手におとずれる機会をうむこと 雑談を大切にしたはたらく場づくり

A photograph of three children walking away from the camera on a gravel path. The child on the left is wearing a bright green shirt and dark pants. The child in the middle is wearing a white shirt and light-colored pants. The child on the right is wearing a red and white plaid shirt and light-colored pants. They are holding hands. The path is surrounded by green grass and a fence on the left. In the background, there is a dense forest of tall trees on a hillside. Overlaid on the image is a yellow circular arrow graphic with three dots at the top, bottom, and left positions.

まわりはじめる小さな兆し

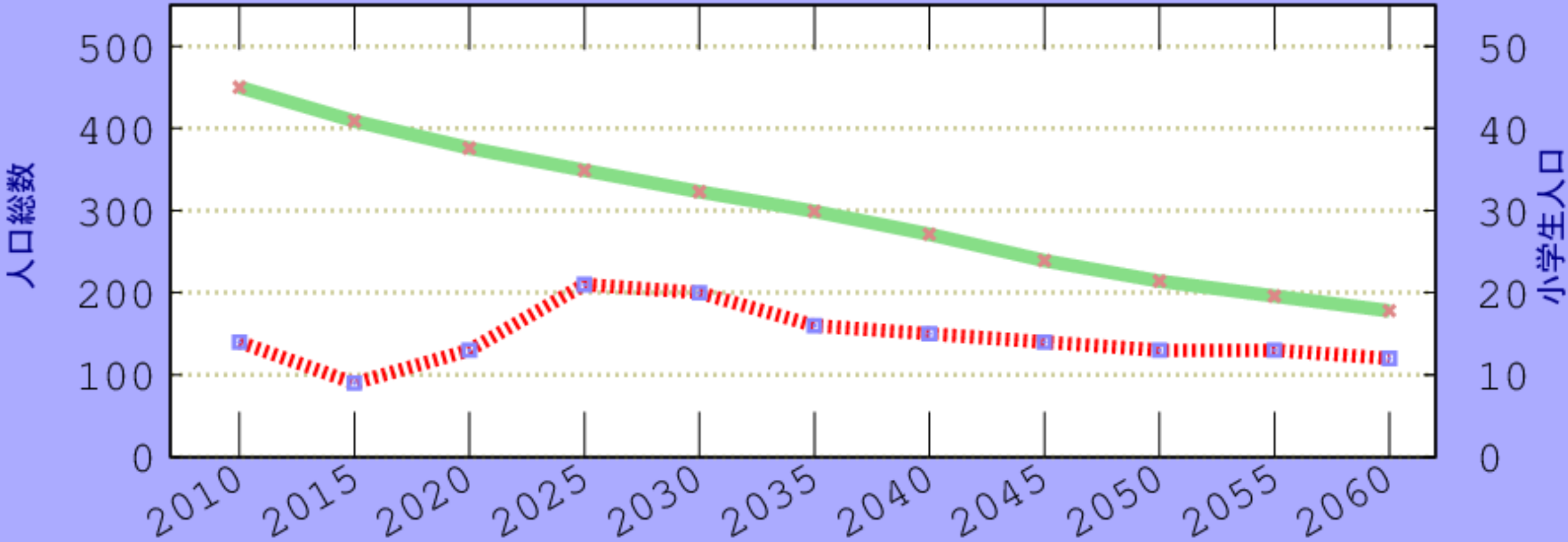
Population Projection of Tukuba district “2010”

筑羽自治区の将来推計2005-2010年 2060年総数



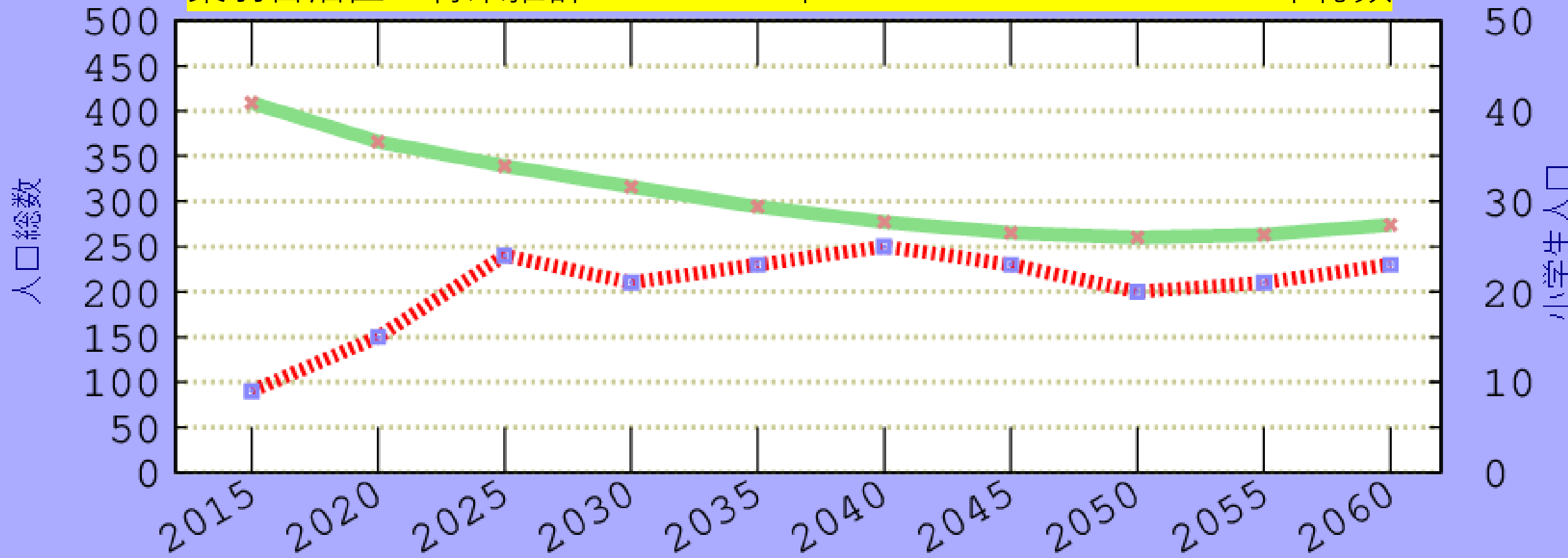
Population Projection of Tukuba district “2015”

筑羽自治区の将来推計2010-2015年 2060年総数

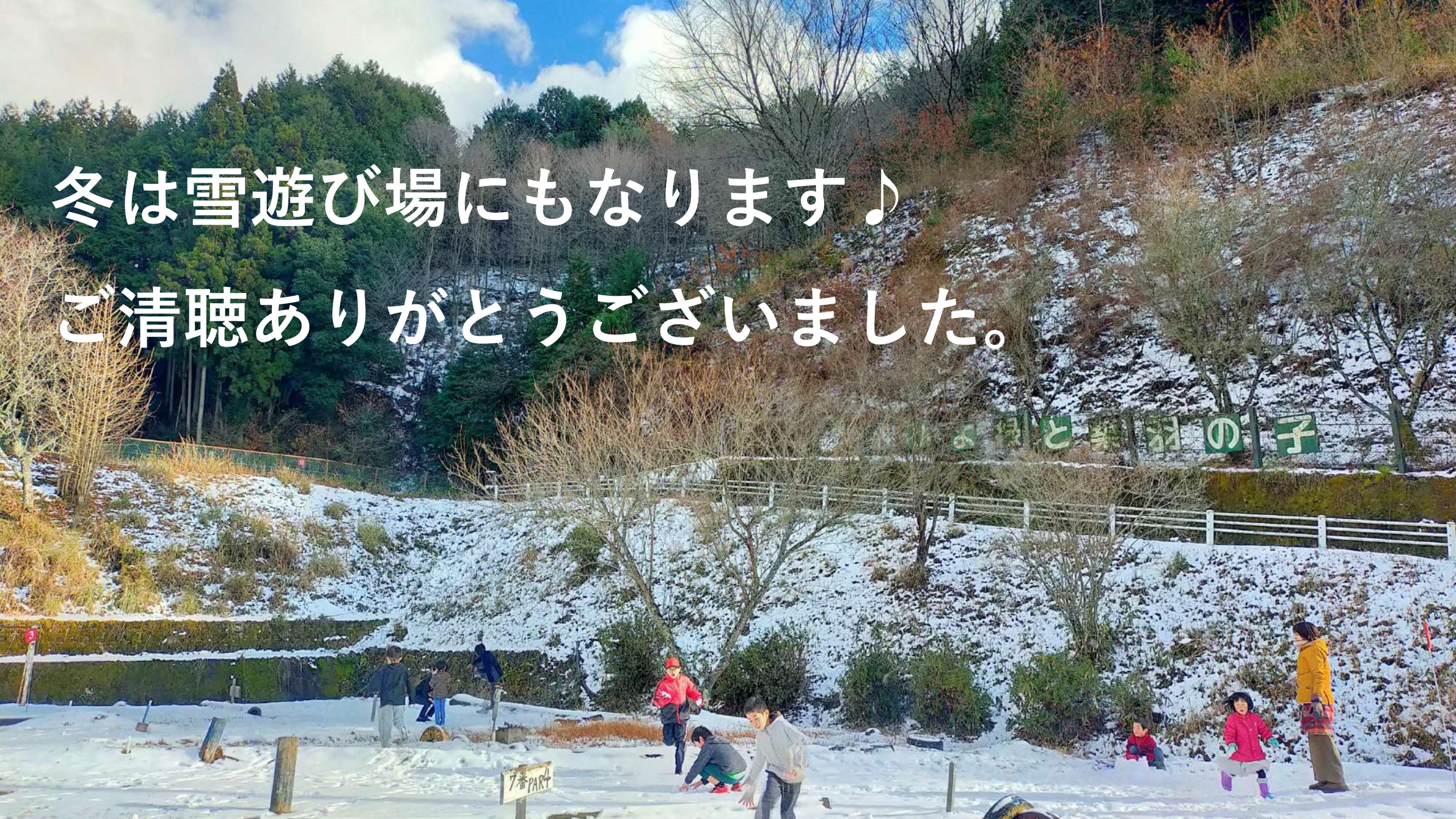


Population Projection of Tukuba district “2020”

筑羽自治区の将来推計2015-2020年 2060年総数



冬は雪遊び場にもなります♪
ご清聴ありがとうございました。



以下は、参考資料



過疎対策プロジェクト始動

地域で学んだありかた

旭地区に移住するきっかけとなった過疎対策プロジェクト始動

日本再発進！

若者よ田舎をめざそうプロジェクト

2009年9月から2012年3月の間、都市部から募集した10名の若者が、地域の空き家、耕作放棄地を借り、農業をなりわいとした持続可能な農山村の暮らしを実践するとともに、農村コーディネータとして、人々の生活を守り、豊かな自然環境、豊かな人間関係、豊かな生活を実現するための先駆けを目指すことを目的とした事業でした。





緊急雇用対策事業として

稼ぐ農業の志向

しみる山里のホスピタリティと、期待と苛立ちと焦り

チームの崩壊

関係性の再構築

「あんたらいてくれるだけで、うれしい」

みんなで生き残っていくにはどうすればいいだろうか

暮らしをつくるはたらきかたへ

事業からでなくひとりひとりから発想する

覚悟を決めると、関係性がかわる





プロジェクト終了後

事業収入がなくなる。→ 余剰金は給料として支払い。

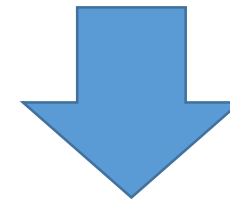


お金があることでできることはある一方で、お金あることでできないことがある。

お金に人生をあずける生きかたに不安定さを感じていたことに気づく。
本当に安心して安定した生きかたは、自分事で生きれること。

地域の命運と自分の人生を重ねて生きるということが心地よい。

地元になくてはならない存在になれた時、稼ぎはついてくる



さまざまな事業を創造しはじめる。

旭には大切にしたい 当たり前の文化があった



人口減少、少子高齢化、空き家、耕作放棄地、放置林、はたらく場所、買い物弱者、介護や看取りなど、モヤモヤする課題はたくさんあるけれども、

「お互いをよく知り、かかわり、一緒に体をうごかす、おせっかいをし、あんじゃないと励ましあう」

という関わりを創り続けることで仮説が転がりだす。



2018年4月オープン



どんな施設か

より

誰とするか



築羽小学校閉校式

2012年3月



つくばマレットゴルフ場















つくラッセルでは何が起こっているのか

- ・ **暮らし目線のコミュニケーションがうまれる場**

何かが起こることも、何かが起こらないことも、ひととひとのコミュニケーションがあってできること。コミュニケーションの総量をあげるさまざまな活動や事業ができる場になっている。

- ・ **お互い様の関係のなかで新しい事業創出や事業承継の場**

何かをやりたいと思ったとき、何か困ったときに、話ができる相手がいる、実践できる場所がある、道具がある、事業の進めかたや起業の仕方を相談できる、そんな関係性が広がっている。

- ・ **暮らしの中ではたらくを両立した次世代育成の日常空間の創出**

子どもと一緒に出勤OK、子どもたちがいられる居場所、子どもたちの活動場所や機会がある、中高生をはじめ若者たちへ相互関係による暮らしやはたらくことを見せられる場、細切れの時間や急な用事などにも対応しながら助け合ってはたらける場になっている。

- ・ **クラウドソーシング拠点**

都市部の企業と連携したテレワーク業務によって業務や雇用をうみだす場になっている。

つくばレクバレーボールクラブ



コワーキングスペース





テレワーク拠点
Man to Man株式会社
株式会社コングレ

休憩室



山里合唱団こだま



山里手習い塾



豆っこくらぶ

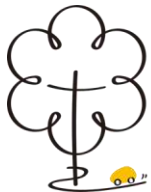


小渡小原販売店 戸田新聞店





あさひ薪研



里モビニテイ



夫婦仲良く！



ちょい乗りで便利だけではなかった
笑顔が出る、人と人との交流が生まれる



旭木の駅プロジェクト

山っこくらぶ





『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

これからも楽しく交流 マレットゴルフ!

マレットゴルフ愛好会が始まって約9年になろうとしています。今年度から会長に後藤晃孝さんが就任されました。老若男女問わず、楽しめるスポーツですね。愛好会員以外の方でも1日200円で利用できます。ご利用の方はつくラッセルスタッフまでお声がけください。



「家の外に出て、他の方と交流する機会を増やしてほしいとの声があり、今年から定例会を毎月第1水曜日にしました。皆がふれ合い、楽しみながら交流できればと思っています。」

新しく会長に就任された
後藤晃孝さん（伊豫町）



山里合唱団こだま 9周年

つくラッセルスタッフでもある、竹内支保子さん（ソプラノ歌手）と山岡恵さん（ピアノ）率いる1ターン、Uターン者を中心に構成されている山里合唱団こだま。今年で結成9周年になります。毎月第2と第4金曜日の夕方につくラッセルで練習をしています。竹内さんに想いをお聞きました。



2014年1月に「山里合唱団こだま」は結成されました。旭に移住した M-easy の戸田友介さんと、こいけやクリエイティブの西村新さんのお2人が、合唱したいので指導して欲しいと私に依頼してくれたのがきっかけでした。二つ返事でいいよーと返事をして、当時岡崎市に暮らしていた私は1時間半ほどかけて太田町の福蔵寺まで通っていました。立ち上げ当初は男声合唱団だったのが、お父ちゃん達が楽しそうに歌っている姿を見て、お母ちゃんたちも私たちも歌いたいと加わって混声合唱団に。



こだまの練習はいつも食事からスタート。御礼はどうしたらいい?と戸田さんが私に聞いてくれて、だったらご飯を食べさせてくれたらいいよと答えたのがきっかけで戸田団長の賄いご飯がスタート。

20~30人分のご飯を作ってくれ、なんだか申し訳ないなとおかずを持ち寄る人が増えていき、毎回馳走の楽しく美味しい時間を過ごしています。同じ釜の飯で大人も子どももお腹いっぱいになった頃、そろそろ歌いますかと、そこからは本気モードの合唱練習。大人が真面目に合唱の練習をするすぐ横で、子どもたちは走り回ったり漫画を読んだり、自由に楽しく過ごしているのがこだまの風景でした。

当時は楽しく歌えればいいと思っていたけれど、継続は力なりで、こだまのメンバーは少しずつ実力をつけていきました。最近は練習場所をつくラッセルの校長室に移し、よく響く空間の中、美しいハーモニーを目指して割りとしつこく1音を追求する時間も取っています。

ホームの福蔵寺ご縁市はもちろん、いなかとまちの文化祭や、耕 Life マルシェは常連になっています。野外で合唱することが多いこだまに、もっと合唱を楽しんでもらいたくて、今年度は豊田市民クラシックコンサートにチャレンジします。豊田市民コンサートホールは全国的に見ても素晴らしい響きのホールなので、身体から発せられる声が空間に響き渡る共鳴と、舞台と客席との一体感をぜひ感じてもらいたいと思っています。このコンサートには団員の子どもたちも数人出演する予定です。

父ちゃんから始まった合唱団が、いつのまにかファミリー合唱団になりました。まだまだ進化は続きそうです。ぜひコンサートホールまでこだまの合唱を聴きにきてください。



♪第25回豊田市民クラシックコンサート♪

会場：豊田市民コンサートホール

日時：2023年9月18日（月祝）こだまは14時50分ぐらいから

金額：全席自由 500円（お問い合わせはつくラッセルスタッフまで）

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722（代表）0565-77-7648（戸田新聞店）
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日9:00～17:00
カフェ 平日9:30～16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル運営コンソーシアム代表

マレットゴルフ
山里合唱団
集い、文化、学び



「つくラッセル」は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしなが、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

地元の食材で持続可能なアイスミネアサヒのアイス販売開始!

去年沢山の人の助けで貰ったお蔭で今年も続けていけているので、真っ直ぐな気持ちでアイス作ってあげたいと思っています。



コレカラフーズ

3階の元理科室で氷菓・アイスクリーム製造をされているコレカラフーズの水澤孝司さん。昨年のつくラッセル News で紹介してから1年が経ちました。その際、今後挑戦したことで紹介した、お米のアイスがついに完成いたしました! 1年前と変わらぬ想いで真摯に向き合っているアイスづくりについてお聞きしました。

コレカラフーズをはじめた当初から「糖分を入れないアイス」をつくりたいと思っていました。この地域で持続可能な食材、この土地で育てられているものは何なのか。地域の方に田んぼの維持管理をお願いされたのもきっかけになり、ミネアサヒでやってみよう! となりました。田んぼは初心者なので、559さんに委託管理していただき、教えていただいています。

材料はミネアサヒと種麹だけ。濃厚な甘酒を作るイメージです。精米から様々な工程を経て2日かけてできています。甘いけど麴臭さと雑味を消すのに1年ぐらい試作を繰り返しました。プレーンができたので、プレーンにレモン、抹茶、桑茶などを入れて展開していきたいと思っています。現在プレーンにチョコレートを加え、カカオニブをちらした乳製品の入っていないチョコレートアイスを店舗限定で販売中です!



ミネアサヒは余平町の559さん、麹は豊田市の老舗麹店のヤマキ麹店さんをお願いしました。プロの技の掛け合わせを堪能いただければと思っています。



去年も話しましたが、仕事を家族でやりたいという夢があります。子どもたちが大きくなった時にやりたい仕事ができるように。アイスを売るといっても、お米をつかったり、パッケージのデザイン、営業販売をしたり業務は多岐にわたります。その為にも自分がアイスという出口をしっかりとつくりたいと思っています。

【ギフトセット】

直接お声がけいただくか、オンラインで購入できます。



【取り扱い店舗】

豊田市	つくラッセル	どんぐりの里稲武
	寿楽荘	足助バレット
	三州足助屋敷	空飛ぶ羊 KURA

5/28に東萩平自転車広場で開催された、自転車交通安全教室でコレカラフーズのアイスのふるまいがありました! 子どもたちは大喜び!



学習支援の自習会のご案内

先月号でお伝えしました、島崎町出身の鈴木雄也さんが学習支援の自習会を開催します。鈴木さんについては先月号をご覧ください。



日程: 7/25(月)、8/1(月)、8/17(水)、8/30(火)の4日間
時間: 13:00~17:00
会場: つくラッセル1階カフェ校長室
対象: 中学生(小学生はメールにてご相談ください)
金額: 10,000円(全日程4日間)
問い合わせ・お申込み: yuya.suzuki.yt@gmail.com(担当: 鈴木)
※必ず、事前申し込みください。メールにて個別対応いたします。



家では勉強がはかどらない人、みんなで一緒にやりたい人 etc.
鈴木お兄さんに質問もできるよ!



つくラッセルは冷房完備しています!

今年も暑いですね。つくラッセルでは冷房を完備していますので、小学生・中学生・高校生・大学生の皆さんは勉強や読書などに部屋を解放しています。部屋を利用したい場合は事務所まで声をかけてください。

【お詫び】

6月号で名前のルビを間違えてしまいました。申し訳ありません。正しくは「なりあき」さんです!

コラムははじめます!

6月号でご紹介しました、スタッフの山田尚晃(なりあき)さんによるコラムの掲載を始めます! 次回号をお楽しみに!

お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722(代表) 0565-77-7648(戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00~17:00
カフェ 平日 9:30~16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル運営コンソーシアム代表 戸田友介

コレカラフーズ

農産物加工品 起業支援 1ターン人材



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

訪問看護ステーション「かえるの家」1周年

つくラッセル3階に訪問看護ステーションかえるの家が開設してから1月で1年が経ちます。現在旭・小原・稲武・藤岡・足助地区を訪問されており、約18名の利用者がいらっやいます。運営する後藤真也さん(29)・亜利沙さん(28)ご夫婦、またお二人の専門学校の同期であり、スタッフの市川志穂さん(28)にお話を伺いました。

訪問着が新しく
なりました♪
刺繍は亜利沙さん
のデザインです!

市川志穂さん

後藤真也さん

後藤亜利沙さん

「1月で1周年を無事迎えることができました。24時間365日営業のこともあり、地域の活動にあまり参加できていないことが心苦しいですが、山間地域での医療体制を整えるためにあと1〜2年は集中して頑張ろうと思っています。伊熊町に住みながらも、SNSを活用し頻りに情報交換を行っています。特にリハビリに関してはリハビリ専門のスタッフがいないので、訪問看護で使えるリハビリの仕方など知識を得ています。」

「まず利用者が来てくれてホッとしています。利用者さんと関わることで、山間地域の医療が行き届いていないことを実感しています。受診ができない、今まで通り服薬ができないなどのジレンマ抱えつつも生活をされています。」

また山間地域での生活環境の変化をご家族では気がつきにくいこともあり、訪問看護が入ることで予防に繋がります。『家で暮らしたい』という利用者さんの願いにこれからも向き合っていきます。」

「1年間働いて、『家にかえる』という選択肢を提供できたのはよかったと思います。実際に、在宅での現状課題もみえ、課題は山ほどありますが、これからも選択肢の1つに訪問看護があるということで安心していただければと思っています。」

裏面につづく▶▶▶



看護師の巻き爪専門サロン

看護師の巻き爪専門サロンは現在自宅(伊熊町)にて行っています。訪問看護でも施術可能です。これまでに20〜50代の若い方も利用されています。爪のトラブルで歩けなくなるケースも多く、爪の健康はお身体全体の健康に繋がります。病院で手術する前に一度ご相談ください。

12月末まで初回2,000円オフキャンペーン中!!

地域の暮らしの保健室

毎週火曜の午前中に地域の暮らしの保健室というお悩み相談会を行っています。本当に家で過ごせるのか、施設で暮らすとどうなのか、今後の治療方法や透析をつくるべきかなど看護師に相談してみたいことがあればご活用ください。※予約制になります。ご希望の方はつくラッセルスタッフにお声がけください。

今後について

訪問看護だけでは山間地域の医療を整えるのは難しいと思っています。そのためにも今後やりたいことがいくつかあります。例えば、看護師が付き添う受診受迎。看護師が付きそうことで、重症度が高い方にも利用していただけます。他にも山間地域はお一人暮らしの方が多く、土日祝での食事の準備や家事代行をするヘルパー事業も整えたいです。

また現在はひとりの利用者さんを1事業所でみることが多いですが、複数のステーションが関わり合い、連携し合いながらお互い学びあえる関係を築いていくことも必要だと感じています。実際に訪問することで山間地域の医療管理は一步遅れていると実感しています。医療を整えていくためにも共に働くスタッフを募集しています。

スタッフ募集の
ご案内はこちら!



年末の挨拶



2022年も残りわずかとなりました。自然とともに、地域とともに、かわるすべての人たちとともに、どう暮らしに向き合っていくか、模索しながらの毎日です。おかげさまで、たくさんのご縁に支えられて、今があります。これまでのこと、これからを最近noteというサイトで綴り、不定期更新になりますが、よければ以下のQRコードからのぞればと思います。これからも柔軟に変わりに富んだありかたをたくさんの方と共有しながら、できることをできる限り取り組んでいきたいと思っています。2023年もよろしく願います。

株式会社 M-easy 代表取締役 戸田友介

【年末年始のお休み】12月29日(木)〜1月4日(水)までお休みさせ

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00〜17:00
カフェ 平日 9:30〜17:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル

訪問看護ステーション かえるの家

孫ターン人材 若者起業支援

起点をつくりだす みんなのやりたいを叶える つどう・はたらく・つくる拠点



2023年
4月号



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

竹々木々工房5年目。着実に活動を広げる。

つくラッセルの元給食室を調理室として活動している、竹々木々工房（ちくもくこうぼう）。代表の大山侑希さんは「色々な方の協力をいただき、5年目の活動を迎えます。大好きな竹のことを毎日考えられている日々を幸せに思います。永続的な里山整備の仕組みづくりのため、今後も色々と挑戦していきます。」と話しています。



新盛産直市場さんから幼竹の買取。収穫いただけるのは本当に有難いです。今後ご協力いただける買取場所を増やしていきたいです。有間竹林愛護会さんにも変わらずご支援いただきました。



▲山から竹を伐って、その竹を使って遊ぶイベント「竹っこくらぶ」を定期開催しました♪竹炭を使った、竹飯盒 etc

▲薬膳旬辣椒、デュカ、筍の塩麴煮を新商品として販売開始しました！



▲北小田町の里山エネルギーさんから竹炭の焼き方を習いました。

▲新盛町と北小田町で竹林整備を行いました。地域の方と一緒に活動できたのが嬉しかったです。

2023年の予定



▲わくわく事業「太田に陽だまりプロジェクト」に参加し、太田町で竹林整備に入らせてもらいます。お世話になっている地域に貢献できるように頑張ります。

▲中日新聞「ミカ7 sbgs」に掲載いただきました。



▲湯がいた幼竹が美味しいので、出来立てを水煮として販売していきたいと計画しています。



地域の課題に少しでも貢献できるような里山活動を続けていきます。今後ともご協力をよろしくお願い致します。



LINEで情報を受けとれる地域ではたらくを再発見！

豊田市の地域課題解決事業のひとつとして昨年3月から実施している「スキママッチング」。1年間で地域の企業を13社、求人を12件掲載しました。求人掲載するだけでなく、地域にはこんな仕事、魅力的な職場があるんだ！と再発見することで、移住促進にもつながっていきたくと思っています。

今後求人情報も増えていきますので、まだ登録されていない方はご自身に関係がなくても短期バイトや学生歓迎のバイトもありますので、お節介に紹介していただければと思っています！ご協力よろしくお願いします。求人掲載希望の企業様もお待ちしています。



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassel.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN
オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル 推進コンソーシアム代表 戸田良介

竹々木々
地域資源活用
1ターン人材
起業支援

起点をつくりだす みんなのやりたいを叫べる つどう・はたらく・つくる拠点

つくラッセル News

2022年
5月号



「つくラッセル」は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。



お仕事やれる～や!

スキママッチング 始動!

地域を支える会社・事業者とはたらかしたい人をつなげます。

地域の会社・事業者さんの求人情報を掲載します。登録・掲載は無料です。ちょっとしたお仕事から、定期的なパートさん、夏休み期間の学生アルバイトまで、はたらかしたい人に情報をお届けします。現在、限定 20 社無料で、取材と写真撮影にうかがい掲載します。ぜひお声がけください。

= 求人掲載例 =



© 2022年5月25日

農事組合法人つくばの里 (仕事情報)

法人名称	農事組合法人つくばの里
代表者	代表 佐々木 隆一
所在地	〒444-7531 愛知県豊田市長瀬町大字の里
業務内容	・たまご産卵・たまご販売 ・たまご産卵・たまご販売 ・たまご産卵・たまご販売
就業時間	9時～17時 (土・日・祭日・年末年始は休業)
就業場所	つくばの里 (豊田市長瀬町大字の里)

= 取材掲載例 =



© 2022年5月25日

農事組合法人つくばの里 (取材掲載)



桜井 ひとし さん
お久しぶりです。最近、収穫の喜びを体験できて嬉しいです。ぜひ、ご指導をお願いします。

イキイキ、決して重労働ではありません(キツリ)。モミは15kg、稲刈りも機械を使いますが、イキイキとやることは絶対にありません。作業方法も工夫しています。むしろ楽しんでます。のんびりした自然の中でみんなと一緒にワイワイと作業がから。



ホームページはこちら



はたらかたい方は裏面をご覧ください→→→

地域のみなさんへ

お仕事情報が LINE に届きます

「子どもが学校に行っている間に働けないかな」
「地元でちょっとした仕事ないかしら」
「夏休みだけなら働けるんだけど、地域でないかな？」

地元でのお仕事情報を LINE にてお届けします。
地元こんな企業があるんだ! という発見にもなりますよ。学生さんも夏休みだけの求人も掲載します。
短期～長期まであなたのスキマ時間に働ける情報をお届け予定です。

お問い合わせ

つくラッセル スキママッチング事業部 担当: 戸田友介、戸田育代、大山侑希、水野寿子

☎ 0565-77-2722

✉ sukimatching@tukurassell.life

🌐 <https://tukurassell.life/sukimatching/>

本事業は、豊田市旭支所、地域課題解決事業「あさひ小仕事バンク事業」および、つくラッセルの CSR 事業として、移住定住を通じた持続可能な地域づくりを目的に、協働運営しています。

夫婦ともどもよろしくお願ひします!

こんにちは。榊野町出身の水野寿子です。

現在は東京と榊野町の2拠点生活ですが、ライターとしてスキママッチングに関わらせてもらうことになりました。実家のあるこの地域の取材ができるのはとても楽しみです。インタビューの際はよろしくお願いします!



たくや
水野巧也さん
ひさこ
寿子さん (旧姓: 藤谷)

= プロフィール =

水野巧也 (1972 年生まれ)

出身: 広島県呉市生まれ

東京都杉並区育ち

趣味: 山の中でソロキャンプをすること

仕事: インテリア関係の PR 広告デザイン



こんにちは。水野巧也です。現在は、父(藤谷常壽さん)にチェンソーや田植機などの使い方をひとつひとつ教えてもらいながら、田畑や山仕事を一緒にやっています。農ライフにも参加して伊熊町の畑で学んでいます。仕事にできたデザインや写真撮影の技術も、地域で何かのお役に立てたらと思っています。

= 経緯 =

榊野に何度か訪れる中で豊かな自然、鮎など新鮮な食べ物の美味しさ、人のあたたかさがあって、いずれは義父母のそばに引っ越して生活や田畑を手伝いたいと考えているようにリモートワークが可能になったのをきっかけに、2022 年 1 月に都内から榊野町へ転居

巧也さんにはお仕事紹介のための写真撮影をしていただきます。どうぞよろしくお願いします (取材)

お問い合わせ先

つくラッセル ☎ 444-2843 豊田市旭八幡町堂山 432 番地 3

TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)

FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~

カフェ 平日 9:30 ~

つくラッセル NEWS 発行責任者: つくラッセル

お仕事やれる～や スキママッチング

地域の仕事紹介 UIターン人材



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

先人が植えてきた木を大切に 木の持ち味を生かした木工製品を作りたい! ～2年目の活動を振り返る～

つくラッセルの木工室を活動拠点としている「間伐材木工研究会」は間もなく活動3年目を迎えました。間伐ボランティアとして森に入り作業を行う中で、間伐材の多くが木材として十分使えるにも関わらず、山に放置されてきました。活用されていない様子を目の当たりにし、「先人が子や孫のために大変な思いをして植えてきた木をもっと木工製品として永く大事に使ってあげられないか」との想いから、研究会を立ち上げられました。



間伐材木工研究会 桑原さん 杉田さん(代表) 遊佐さん

活動2年目の2022年度は、藤岡交流館での木工教室の開催(3回)と個別の依頼に基づく製品づくりを行ってきました。

今後はつくラッセルでの木工教室や木工製品の販売も視野に活動を充実していく予定です。

藤岡交流館での木工教室の様子。6月は時計、10月は椅子、1月に道具箱を製作しました。



個人の依頼の製品の一部をご紹介します!
左の写真から引き出し収納、本棚、収納付きレンジ台、折りこたつの足置き。

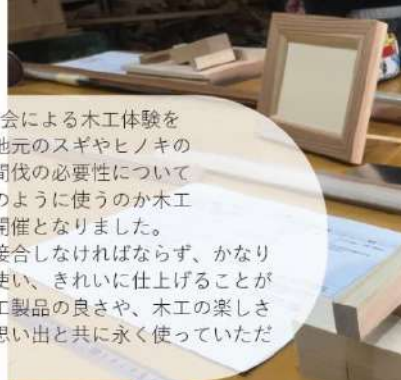


2月17日(金)に敷島小学校6年生の木工体験実施の様子は裏面をチェック! ▶▶▶

敷島小学校6年生がつくラッセルで木工体験

2月17日(金)に敷島小学校6年生7名の間伐材木工研究会による木工体験をつくラッセル木工室で実施しました。敷島小学校では毎年、地元のスギやヒノキの森の木の混み具合などを調べる「森の健康診断」を実施し、間伐の必要性について学んでいます。学習を終えた生徒達から「間伐された木をどのように使うのか木工についても勉強してみたい」との声があり、今回のイベント開催となりました。

今回製作したフォトフレームは、四隅を直角にすき間なく接合しなければならず、かなり難しいテーマでしたが、ノコギリや丸ノコと切断用の治具を使い、きれいに仕上げることができました。代表の杉田さんは「木の温もりが感じられる木工製品の良さや、木工の楽しさを学んでいただけたのではないかと思います。小学校時代の思い出と共に永く使っていただけると嬉しいです」とおっしゃっていました。



若者活動発表会 ～私たち地域で学ばせてもらいました!～

3/19
日

2022年度、旭・足助地区に通い、地域も皆さんとかわりながら学ばせてもらった活動や研究を発表します。関りがあったかたも、はじめてのかたも、ぜひ一緒に地域でつくる学びや、若者とも関わりについて考えるきっかけにしましょう。

<発表者>

名古屋大学大学院環境学研究科都市環境学専攻
名古屋大学大学院環境学研究科地球環境科学専攻
大阪市立大学生活科学部居住環境学科
名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科

太田匡哉
植山光樹
勝山奈央
上田光太郎



日 程: 3/19(日) 13:00～17:00
場 所: 体育館
備 考: 13:00～13:30 にデュオルリアンによるオープニングアクトの演奏会があります。
懇親会: 終了後、希望者のみ懇親会を予定しています。
(懇親会は会費制、会場は「こらっせる」、時間は18:00～20:00)
対 象: 中高生以上全年齢対象です。お気軽にご参加ください。
申 込: QRコードを読み取り、もしくはつくラッセルスタッフまでお声がけください。予約がなくてもご参加いただけます。
人数把握のため、予約いただけると幸いです。
主 催: M-easy/三河の山郷コミュニティパワー



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山 432 番地 3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN
オフィス 平日 9:00～17:00
カフェ 平日 9:30～16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田

間伐材木工研究会 学びと森林活用



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

就労継続支援B型「よりみち」4月開所予定 ～木の駅プロジェクトの材を活用し、リフォーム!～

愛知県豊田市の足助地区で、デイサービス型地域活動支援センター「畦道（あぜみち）」をご存じでしょうか。2017年5月から障がい（主に精神障がい）のある方が家から一歩を踏み出し活動する場として開所してきました。2022年4月より、足助地区北小田町に移転し、より多くの方に寄りそっている場として新たに中山間地域で初の就労継続支援B型事業所「よりみち」を開所されます。
（株）M-easy では昨年8月から木の駅プロジェクトの材を活用した改修をつくらッセルスタッフと地元事業所で共に行ってきました。「よりみち」を運営されるNPO法人みち代表の今枝美恵子さんにお話を伺いました。



地域で暮らす障がいのある方が、住み慣れた地域で通える居場所、働きたいと望む方を支援できる場所をつくりたい。

精神疾患や障がいでお悩んでいるご本人さん、ご家族の方などお気軽にお問い合わせください。



今枝 美恵子 (39)
南知多町豊浜出身
精神支援歴 15年

ご主人と娘さんの3人家族

この道に進んだきっかけ。

おばあちゃんの介護でヘルパーの仕事を知り、福祉の道へ。進路を迷っていた際に、何十年も精神科に入院されていた患者さんの言葉に救われ、精神支援の道に進むことを決める。行く方向を決めてくれた恩返しをしていきたい。

「ご縁をいただき、新盛自治区で新たに就労継続支援B型事業所を開所することになりました。周辺住民の方に挨拶した際、『早くおいで!』と、とても歓迎していただきました。空き家に人が入ることで防犯になるし、市外に住んでいる子世代からは、親の安否確認をしてくれると有難いとの声をいただいています。3月下旬には内覧会を数日行う予定です。周辺地域の方、福祉関係の方にお越しいただければと思います。」

経験者のパートさん募集しています!

「今までより部屋が広くなり、人手も必要です。週2～4日で働けるパートさんを募集しています。できれば精神保健福祉士さんや精神保健福祉分野経験者の方を募集しています。お気軽にお問い合わせください。」

拠点となる古民家改築費の寄付を募っています。

「病気や障がいのある方が住み慣れた地域で暮らし、働く練習をする場所づくりにご支援・ご協力ください。よろしくお願いします。」

詳細は裏面へ

今枝さんは現在クラウドファンディングで寄付を募っています。QRコードから詳細をご覧ください。インターネットでの支援方法が分からない場合は下記連絡先にご連絡ください。
問い合わせ先: ☎ 0565-77-8482 (担当: 今枝 平日9時～17時)



学び・交流・つながる時間

おいでかるん 第1回 「認知症を知る講座」

つくラッセル3階に研究室『高齢化学未来研究センター』をかまえる、太田光明さんによる認知症を知る講座を行い、10名の参加がありました。唾液検査による認知症検査（結果は後日）や、認知症を予防するための運動の仕方、栄養の取り方のアドバイスがありました。

細かなデータをもちいて、詳しく説明していただきました。

参加者からの声

フレイルという概念が新たな知識となりました。検査の結果も楽しみです。



第3回「あさぶろにきく 今どきの大学生・若者のリアル」

旭で話題? 小渡の和菓子屋さん（松栄軒）の孫が旭地区に貢献したいと立ち上げた「あさぶろ」。あさぶろの活動にいたった経緯から、最近の大学生や若者のリアルをヒアリングします。聞きたいこと、話したいことがあれば、事前に質問もできます!
【日 時】3月8日（火）10時から11時30分
【場 所】カフェ校長室
【定 員】10名 【参加費】500円
【講 師】上田光太郎さん（代表 名古屋市立大学）
松井優さん（旭出身 京都大学）



第2回 「運転上手が事故を起こす?」

運転が上手な人は事故を起こさない? その実際は? 誰でもできる、事故を起こさないためにすることは? テレビにも出演、交通安全教材も作る交通心理学者による講座です。



【日 時】2月28日（月）13時から14時30分
【場 所】カフェ校長室
【定 員】10名 【参加費】500円
【講 師】島崎敬さん（名古屋大学未来社会創造機構 特任准教授）



小型ソーラー・カーポートお披露目会開催

土砂災害や景観破壊の観点から、大規模な太陽光発電へのリスクを考えられる中、小さくても身近で使える自給消費型の再生可能エネルギーとして、つくラッセルに導入し1月28日にお披露目会を開催しました。合計で11kWの出力の太陽光発電を備え、ほぼ全量を施設で使用しています。非常時に独立して使用できる仕組みを搭載しています。



お問い合わせ先

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日9:00～
カフェ 平日9:30～

つくラッセルNEWS発行責任者 つくラッセル

就労継続支援B型 「よりみち」

起業支援 森林資源活用 小仕事づくり



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

「日帰りから宿泊の田舎暮らし体験、お試し居住、 2拠点居住から、本格移住まで」 つくラッセルとも連携しながらトータルサポートします!

2022年8月号で紹介した「多世代シェアハウス&コミュニティースペース こらっせる」は1階がゲストハウス、2階がシェアハウスの「泊まるから住むまで」古民家こらっせるとして舵をきるようになりました。仕掛け人は2022年1月から名古屋市と旭地区との2拠点生活をしている上田光太郎さん(名古屋市立大学4年生)。ゲストハウスは観光での宿泊、シェアハウスは短期~中期の移住としての活用を予定しています。古民家こらっせるについて上田さんにお聞きしました。

こんにちは、上田光太郎です。「泊まるから住むまで」古民家こらっせるを開業しました。

こらっせるの管理人として、槇本町の常会や草刈り、祭りにも参加させてもらうことで、これまでは遊びに来て「泊まっている」のから「住んでいる」に変わったことで、心境の変化がありました。僕と同じような追体験を通して、地域との関わりを深めていけるような拠点になればと思っています。お披露目会お待ちしております!

7/15(土)
**お披露目会
開催!** 詳細は裏面へ▶

古民家こらっせるお披露目会

日時: 2023年7月15日(土) 10時~17時
※時間内に、いつでもお立ち寄りください。
会場: 古民家こらっせる(豊田市槇本町折本10番地)
駐車場: 築羽農村環境改善センター(築羽会館)
※会場に駐車場はありません。お車は築羽会館に停めて歩いてお越しください。
内容: 10時からテーブルカット、内覧会、その後BBQやテントサウナなど懇親会を行います。
※BBQの食材や飲み物をお持ち寄りください。
※テントサウナをされたい方は水着やタオルをご持参ください。
申込: 不要



山里手習い塾 楽しい和紙づくり

こんにちは、つくラッセルスタッフの山岡恵です。皆さん、愛知県で最初に和紙を作り始めたのは、実は旭地区ってご存知ですか?「そのことをぜひ旭にお住まいの方にも知って欲しい、和紙づくりの楽しさを体感して欲しい」と佐藤先生の想いに共感し、今回講座を開催することとなりました。国内外でご活躍されている佐藤先生の講座です。ご参加お待ちしております!

日時: ① 2023年8月7日(月) 10時~12時
② 2023年8月11日(金祝) 10時~12時
集合: カフェ校長室(外での作業もあります。帽子などの熱さ対策もお持ちください。)
定員: 各回10名まで
参加費: 500円
持ち物: タオル、和紙に挟みこむもの3点程度
(つるつるした素材や重たいものでは難しいです。)
服装: 濡れてもいい服装
申込: 電話もしくはスタッフに直接お申込みください。



講師: 佐藤友泰(さとうともやす)先生
紙土(和紙研究家) 愛知県立芸術大学非常勤講師
有間町在住 下切、島崎にも工房兼作品展示場所あり
2009年からフランスパリ、チェコプラハ、フランスニース、アメリカニューヨークなど海外にて作品展やワークショップを多数開催。



古民家こらっせる 泊まるから住む 若者起業支援

つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN
オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル産産コンソーシアム代表 戸田



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおり「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

おいでん・さんそんセンター 相談窓口 つくラッセル1階に移転しました。



おいでん・さんそんセンター
はこんな役割を担っています

- 1 都市と山村をつなぐ
総合相談窓口
- 2 交流マッチング
- 3 プラットホーム会議
- 4 集落活動応援隊
- 5 移住定住サポート

詳細はホームページから



8月1日、おいでん・さんそんセンターの相談窓口がつくラッセル1階に開設されました。

おいでん・さんそんセンターは2013年8月8日、ひととひと、まちといなか、地域と企業をつなぐ都市と山村の交流コーディネート事業を行う中間支援組織として誕生し、現在は、一般社団法人おいでん・さんそんにより運営されています。この10年間、人口減少・超高齢社会に向き合っていくために「つながる力」で、さまざまな相談への対応、マッチング、情報発信等をおこなってきました。今回、つくラッセルという場と重なるとともに、この広い豊田市の市域に対応するために、足助、稲武、小原、下山、旭それぞれに地域エージェントをおき、より地域密着した互いに学び合う営みに育んでいきます。

小原支所にて出張相談の様子



一般社団法人おいでん・さんそん
代表理事 戸田友介 (2023年5月23日就任)

←地域エージェントへのご相談はこちらから！

コレカラフーズ

子どもがお小遣いで買える
アイスクャンディーを目指して

3年目を迎えるアイスクリーム、
氷菓製造所コレカラフーズは今年度より
コレカラフーズ合同会社として活動されています。

カップアイスをはじめ、アイスクャンディーも日々改良されています。水澤さんは「子供がお小遣いで買えるような価格、それでいて素材の味が活かした生産者、生産地と繋がるような無添加アイスが作りたい。昨年目標に掲げたことを着実に実践する1年にしたいと思っています。」とおっしゃっています。つくラッセルで扱っているアイスクャンディーの種類はみかんで1本200円(税込)で販売しています。



山里手習い塾 楽しい和紙づくり

8月7日と11日に紙士の佐藤 友泰先生による楽しい和紙づくり講座が開催されました。座学や実際に型に原料を流し込み、和紙をつくる体験を行いました。参加者は和紙にオリジナルのデザインをしたり、大きな和紙に水滴を落とし模様をつける落水を体験しました。地域の皆さんに佐藤先生がされている和紙作りについてもっと知ってほしいと思うひと時でした。



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山432番地3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life
ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00 ~ 17:00
カフェ 平日 9:30 ~ 16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者 つくラッセル運営コンソーシアム代表

おいでん・さんそ んセンター



『つくラッセル』は、「あのじいちゃん、ようつくらっせるなあ」と、旭の方言で「つくる」に尊敬の気持ちをこめて名づけられました。その名のとおりに「あんなことできるかな?」「やりたい!」と色んな想いをカタチにしながら、さまざまなモノやコトがおこりはじめています。日々是好日、素敵な日々を過ごせますように、つくラッセルよりお届けします。

一緒に年を重ねられる居場所に デイサービスあんじゃない 5年目に

榎本町にあるデイサービスあんじゃないは、10月で5年目を迎えます。今回は管理者の成瀬彩香さん、介護スタッフの坂本有美さんにお話をうかがいました。



4年経って想うのは、私自身ここが大好きということ。何気ないばちばちとした日常をスタッフも利用者さんも一緒に過ごす。家のような心地よさを大切にしています。お互いの調子や心の動きにあわせながら笑って帰ってもらえればそれば何よりだと思っています。



坂本さん

成瀬さん



恒例になっているのは、月1の味噌から手づくりの五平餅! その日のメンバーによって味が違うから面白いです。他にもおにぎりの会や餅つき、毎日のおやつ作りや散歩も



季節を感じられる暮らしを大切にしています。開所してすぐにコロナ禍で思うようにできないことも多かったですが、今年ははじめて太鼓をおかりして夏祭りも行いました。ありがとうございました!



スタッフの仲間や利用者さんとの時間が自分の成長であり、学びしかない日々です。これまでの人生でこんな時間が過ごせるとは思っていませんでした。あんじゃないは自分の居場所でもあり、利用者さんの居場所でもあればと思っています。これから一緒に毎日を紡いでいきます。



最後まで家族やいつもみている顔ぶれのなか「見届けたい」とい想いにどう寄り添っていかけるか、そのためにどうやっていけばいいのか、どうすれば一緒に年を重ねていける場所になっていけるのか、あんじゃないを通じてつなげていくのが私の夢です。地域の皆さんにはいつでも見学にきたり、ふらっと寄ってもらえる場にもなるといいなと思っています。

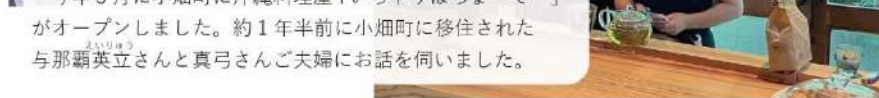
あんじゃない写真館



地域密着型デイサービスあんじゃない サービス提供時間: 平日 9時半～15時半
豊田市榎本町向田 11-1 TEL: 0565-77-4436



地域の方のゆんたくの場に。※ゆんたく=沖縄の言葉で「おしゃべり」 小畑町に沖縄料理屋「いちやりばちョーデー」OPEN



今年5月に小畑町に沖縄料理屋「いちやりばちョーデー」がオープンしました。約1年半前に小畑町に移住された与那覇英立さんと真弓さんご夫婦にお話を伺いました。

真弓さん: 私は「くすいむん」、「むちぐすい」という言葉が好きで、食は薬になるという沖縄方言です。その土地の食べ方で食することが大切だと思っています。ですので、沖縄料理のお店ですが、地元のお米や野菜など季節の材料、こだわった調味料を使っています。沖縄料理は小麦を使うことありきの文化ですが、私自身が小麦アレルギーということもあり、小麦を使わないグルテンフリーの料理をお出ししています。旭といえば、ミネアサヒ、小麦のかわりに使うのはミネアサヒ 100%の米粉です。



英立さん: 村おこしは大げさかもしれませんが、お米が廃れてはいかん! という想いがあります。地元に住んでいる人が地元のものを使って暮らしていく。そのための一歩に、私たちの料理屋がなっていければと思います。今は、米粉を使った麺に力をいれています。地域にあるお米が麺になりもっとたくさん食べてもらえるような仕組みにしたいと思っています。

お二人とも泡盛マイスターの資格をお持ちで、英立さんはお客さんに合わせた泡盛を提供してくださるそうですよ! ご予約・連絡先: 090-4196-8053
営業日: 金曜・土曜・日曜・月曜 屋営業: 11時30分～15時 (14時ラストオーダー)
夜営業: 17時～22時 (20時までに入店ください)



つくラッセル 〒444-2843 豊田市旭八幡町堂山 432 番地 3
TEL 0565-77-2722 (代表) 0565-77-7648 (戸田新聞店)
FAX 050-3488-9128 info@tukurassell.life

ご利用、コラボ企画のご相談などお問い合わせください。

OPEN

オフィス 平日 9:00～17:00
カフェ 平日 9:30～16:00

つくラッセル NEWS 発行責任者: つくラッセル推進コンソーシアム代表 戸田友介

地域連携
地域密着型デイ
サービスあん
じゃない
いちやりば
ちョーデー

ようこそ！「私」の物語をつむぐ



山里ひとなる塾

自分をみつめる、
今の時代の
生き方を考える、
仲間ができる

「山里ひとなる塾」では、
豊田市内山村集落をフィールドに、
地域へどっぷり浸かる生の経験、
本気で地域と向き合う先輩との対話、
仲間たちとの語り場を通して、
これからの人生への向き合い方を学びます。



・1年間を通じて地域にかかわることができる方
・人、自然、地域とつながる生きかたを身につけたい方

期 間：2023年5月～2024年3月
場 所：愛知県豊田市内の山村地域
定 員：15名程度
受講料：6万円/年 **学割半額**

※合宿費、交通費等は別途自己負担

説明会申込フォーム

オンライン募集説明会

■5/5（金）10:00～11:00
■5/7（日）19:00～20:00

塾長とスタッフが塾の雰囲気をお伝えします。応募を送っている方は是非ご参加ください！



2023年夏 4年ぶり つくばの夏まつりに向けて 太鼓練習再開♪

